

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中津商業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月27日(火) 13:15~15:30
- 3 開催場所 中津商業高等学校会議室
開催にあたり、授業参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	成瀬 博明	本校同窓会副会長
副会長	保母 龍興	本校同窓会副会長
委 員	児玉 光弘	地域住民代表、学識経験者
	李 瑾	中京学院大学准教授
	大瀧 國嘉	中津川市立第一中学校長
	柴田 祐希	中津川市定住推進部市民協働課主査(欠席)
	尾関 星香	中津川市教育委員会事務局幼児教育課主査(欠席)
	久木 利道	トーキン工業(株) 代表取締役
	石黒 梨香	本校PTA会長
	名城 仁志	本校PTA役員
オブザーバー	原 祐一	前校長
	森 益基	岐阜県議会議員
学校側	丸山 裕	校長
	丹羽 静	教頭
	松村 勇一	事務長
	兼松 美穂	教務主任
	伊藤 則生	生徒指導部長
	坂本 美和	進路指導部長
	新井 秀行	保健安全部長
	丹羽 浩徳	渉外部長
	若尾 昌彦	商業教育部長
	勝野日菜子	記録

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校運営協議会設置について
- (2) 中津商業高校紹介について
- (3) 令和5年度 中津商業高校「ふるさと教育」関連事業について
 - ① 授業参観 ビジネス科流通コース 「新商品発表会」
- (4) 学校運営の方針と重点について
 - ① 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画について
 - ② 生徒指導部の校則(生徒心得)について

- ③ 学校組織編制について
 - ④ 教育課程について
 - ⑤ 年間行事計画について
- (5) その他
- ① 部活動について

6 各委員からの意見

- 意見1：教職員の生徒に対する指導がしっかりしている。地元からの評判もいいので、もっと良くなることを期待する。
- 意見2：流通コースが開発したアイスクリームは、大変美味しくて里芋が苦手でも問題なく食べられる。非常に良いものが出来た。これは、昨年度からの積み上げがあった結果である。また、昨年度とは違う新しいものを作り上げていくことがすばらしい。これも教職員の指導による一つの実りである。
- 意見3：第二グラウンドで、ようやく生徒の笑い声や歓声、応援の声などが響いて、教育活動が正常に向かってきたのだと感じられ、大変うれしい。
- 意見4：この協議会に参加し、生徒が多く気づきや学びを得られている。今回の資料の内容から、毎年一生懸命邁進しているのが伝わる。
- 意見5：生徒数と教職員数を見て、割っただけでも1人で10人の生徒を担当していると考えると、本当に大変である。
- 意見6：地元のみならず開かれた学校とあるように、県を出て、国も出ることが出来るとよい。
- 意見7：学校の経営計画のスクールポリシーが非常に本校にあっている。計画がきちんと活用され実現されていくという形になっている。
- 意見8：今回生徒のプレゼンテーションもPVの完成度も高く、生徒のまとまりや一体感がすばらしい。
- 意見9：教務部組織の中に研修課を設置したことについて、今後どのように検証して結果を生み出し、またそれをどういった形で周知するのかを知りたい。
- 意見10：ものづくりに関しては、ネットワーク情報を仕入れ、分析収集することが大事であり、難しいことだが、これを生徒が行うというところがすばらしい。
- 意見11：商品開発などの学習は生徒にとって一番わかりやすい学習である。教科書や教職員の話聞くことだけではなく、自分たちで販売をし、収益を計算するといった点が非常に商業ならではの学習である。
- 意見12：流通コースの商品開発以外にも、他の科やコースもすばらしい事をしているので、そういった点もSNSなどでもう少し情報発信していくとよい。
- 意見13：現在、少子化・人口減少により子供たちの数が少なくなっている。従って、公立高校の適正配置問題は近い将来避けては通れない問題で、県議会でも議論になっている。
- 意見14：本校といえば就職だと思っている人にも、この学校は進学もできるのだと思ってもらえるよう、さらにPRしていくとよい。

7 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。各委員から本校の教育活動について高い評価を得た。今後も現在行っている教育活動をさらに充実するとともに、地域に貢献できる人材を育成するための新たな取組に挑戦する。学校評価アンケートを分析し職員研修の成果を検証する。本校の魅力をあらゆる方法で情報発信していく。